



やあ!特集

とちぎインターナショナル フェスティバル2009

ようこそとちぎへ

県国際交流員 リンジー マリー ネルソンさん(米)

県国際交流員 ムリス ティボさん(仏)

平成21年度海外技術研修員

世界をペロリ

アメリカ料理「BLTサンド」

心に残る私の写真

石本秀雄さん(ブラジル)



ハンガリーの首都ブダペストで行われるクリスマスマーケットは、東欧で最も素敵なクリスマスマーケットといわれ、11月29日から12月24日までの間、大小様々な市が開かれます。中でも有名なのは写真のブダペストで最も美しい広場といわれる「ヴァルシュマルティ広場」で行われるクリスマスマーケットで、海外のニュースでも報道されるほどです。クリスマスツリーのオーナメントや蝋燭、帽子、伝統手工芸品、寒いハンガリーならではの大きな鍋で温めたホットワイン、ハンガリーのバームクーヘンといわれる伝統的な焼き菓子「クルトゥッシュ・カラーチ」なども売られ、人々はこのにぎやかな市で楽しい時を過ごします。（写真提供/ハンガリー政府観光局）

リンジー マリー ネルソン さん (24歳) LINDSAY MARIE NELSON



アメリカの国際交流員として栃木県国際課で8月より仕事をしている。ウィスコンシン州ミルウォーキー市出身。

ー初めてまして。日本語はどちらで勉強されたんですか。

リンジー 出身はウィスコンシン州なのですが、父の退職を機に、アリゾナに引越しをしたため、高校2年からアリゾナで過ごしました。だから大学もアリゾナでした。大学では、東アジア研究が専攻でした。私は日本語コースを選びました。日本語コースでは、3つのプログラムで日本語を勉強した後、2004年12月3ヶ月ぐらい名古屋の日本語研究所に私費留学し、勉強しました。また、その年の4月からは東京にある上智大学に1学期(半年)留学し、その後、埼玉県の東京国際大学で1年間勉強しました。その時に、前任者のケント・マレンさんと日本で会いました。アメリカでも同じ大学で勉強しているということも知りませんでしたし、まさか偶然、日本で同じ大学に留学しているなんて考えもしなかったことでした。

ーそうなんですね。栃木県庁で仕事してみてどうですか。

リンジー 以前、留学していた時は、学生の身分でしたし、わりと自由に留学生活を送っていました。実際、栃木県で仕事してみての感想ですが、県庁だとやはり県民の人でもなかなか会えない知事に会えたりするので、多くの人と知り合う機会が得られるのでよかったです。また、国際課の人たちも親切でいろいろなことを教えてくれるのでよかったです。今、私の住んでいる宇都宮は住みやすい場所だと思います。栃木県に来る前は、栃木弁はかなりなりが強いと思ってましたが、そんなにきつなくて、親しみやす

ムリス ティボ さん (24歳) MEURISSE THIBAUT



フランス・ノルマンディー出身。フランス国際交流員として、リンジーさんと同じく8月より着任。1年間、日本への留学経験もある。

ー初めてまして。日本になぜ興味を持ったのですか?

ティボ 子供のころ、テレビで日本のアニメを見て、興味を持ちました。特にドラゴンボールで引きつけられた感じです。また、友達同士でも日本のテレビゲームが流行っていてそれにものめりこみました(笑)。でも、私の場合、実際に日本語の勉強始めたのは、大学に入ってからでした。1年生の夏休みには、インターネットで日本語を勉強しました。勉強していくうちに、自分の日本語のレベルがどの程度あるかを知りたくて、日本語能力検定試験の4級を受けることにしました。フランスの大学の場合、9月入学なので、12月に試験を受けました。日本語は難しくはなく、漢字が好きだったので、フランスの「ブックオフ」で日本の書籍をみつけて勉強しました。大学では、日本語の文法のほか、歴史文化や文学も勉強しました。村上春樹や川端康成の作品も読みました。2005年にはボランティア活動で湯布院に行き、2か月ピザ屋で働きました。

ボランティアなので、お金はもらえないのですが、その代わり宿泊がただでした。その時は日本人の友達と話したりして日本語の会話をできるようにはなったと思います。その後2007年に国際基督教大学(ICU)に1年間交換留学をしました。その時、アルバイトをしたのですが、少しでも日本語に触れる仕事がいいと思い、図書館での整理のアルバイトをしました。また、フランス語を教えることもしました。

い感じがしました。私自身、もともとウィスコンシンの田舎育ちなので、栃木市や那須町などの落ち着いた雰囲気は好きですね。ただ、私が今仕事しているところは宇都宮ですので、県庁所在地らしい都会的な感じがしてしまいますね。また、栃木県の人は親しみのある人が多いと思います。実は私は、現在、ヨガ教室に通っているんですが、同じ趣味を持つ人と友達になって日本のヨガ友達もできました。



ーなるほど。生活してみて驚いたことはありましたか。

リンジー 一番驚いたことは、やはりゴミ箱がないということですね。最近は田舎に行っても、公園に行っていてもですね。911以降、

世界中がテロ対策を行っているというのはわからなくもないですが、ゴミ箱がないのは、かなり不便を感じています。それから、日本人は衛生や健康を気にするのにトイレに石鹼がなかったりするのはかなり不思議ですね。石鹼で手を洗うほうが除菌になるかと思うのですけど。あとは、病院が週末休みということですね。以前、鼻を骨折したことがあったのですが、週末、病院がやっていなくて探し回った経験があります。外国人だけでなく、日本人にとっても不便ではないかと思いますね。

ー確かに考えさせられますね。最後にリンジーさんの栃木県での抱負をお聞かせください。

リンジー 私は国際交流員として、イベントを企画中なのですが、日本の高校生がアメリカの「プロム」(ダンスパーティー)にあこがれているというのを聞いたので、ぜひ日本式にアレンジしてやってみたいです。それから、簡単な英語を教えるイベントや英語のビンゴのイベントを行って、アメリカから持ってきたプレゼントを渡したりしたいです。これ以外にもアメリカのゲームのイベントもやりたいと思っています。また、栃木県と友好交流を行っているインディアナ州を舞台にした小説を1冊翻訳して、みんなに紹介したいと思っています。

ーでは日本語は問題ないですね。栃木県はいかがですか。

ティボ 日本の友達からは栃木県は田舎だと言われたのですが、宇都宮の人口は50万人もいるので、フランスだったら結構大きい都市になります。宇都宮は実際にあちこち行ってみるとかなり広いと感じました。



友達の言うような田舎ではないと思いましたね。でもバスの本数は少ないので、自転車で移動することが多いですね。実際、栃木県で生活してみて感じたのは、他の県に比べて特徴がないように感じました。それと夜がちょっとさびしいですね。

栃木県の人はみんな親切だと思います。実際に生活してみて不思議だと感じたことなのですが、コンビニに行った時、お客様が誰一人としてあいさつしないのは不思議だと感じました。フランスでは、必ず挨拶するので…。始めて行った時、「こんにちは」と言ったら笑われました。これは失敗談になるのでしょうか?(笑) 結局、その後は何も言わないことにしました。「礼儀正しい」という日本の慣習は、多くのフランス人のイメージからいえば、かなり違和感がある部分だと思います。でも徐々に慣れてはきましたが、やはり文化的な違いがあるように感じました。

ー最後に栃木県でこれからしてみたいことはありますか。

ティボ これまでに学校訪問という経験がないので、どのようにしたらよいか考えているところですが、小学校等を訪問した際には、フランスについていろいろなことを紹介したいと思っています。たぶん、小学生はユーロのコインをまだ見たことがない子が多いと思うので、そのようなものを見せてあげたり、フランスで人気のある日本のアニメのフランス語版、たとえば「ナルト」などを見せたりして楽しめるフランスの紹介をしたいと考えています。

また、ALTの中には、フランス語を話せる人が多いので、フランス語の会話クラブのようなものを聞いてみたいと思っています。

平成21年度栃木県海外技術研修員

平成21年度の栃木県海外技術研修員3名が9月2日に来県しました。研修員は日本語研修を修了し、現在各研修機関で専門研修をしています。今年度は昨年度より研修期間が短くなり、来年1月下旬に帰国予定です。

- | | | | |
|--------|--------|--------|------|
| ① 姓名 | ② 性別 | ③ 国籍 | ④ 年齢 |
| ⑤ 推薦機関 | ⑥ 研修科目 | ⑦ 研修機関 | |



①斎藤 淑恵 エリザ

Elisa Toshie Saito

- ②女 ③ブラジル連邦共和国
- ④25歳 ⑤在伯栃木県人会
- ⑥デザイン ⑦graphicman



▲ 研修員の日本語研修の様子



▼栃木県知事表敬



①江 海洋 Jiang Hai Yang

- ②男 ③中華人民共和国
- ④34歳 ⑤浙江省人民政府
- ⑥河川行政
- ⑦栃木県県土整備部河川課・砂防水資源課



①殷 琛 Yin Chen

- ②女 ③中華人民共和国
- ④33歳 ⑤浙江省人民政府
- ⑥農業管理
- ⑦栃木県農業環境指導センター・
栃木県保健環境センター

世界をペロリ

このコーナーでは世界のおいしい食べ物をレシピ付きで紹介します。



アメリカ料理「BLTサンド」

材料(約1人分の分量) :

- レタス 1/4 カット
- ベーコン 5~6枚
- マヨネーズ 少々
- 食パン(8枚切) 1斤
- トマト 大きめのもの

※BLTサンドとは、B(ベーコン)L(レタス)
T(トマト)の頭文字を取ったものです。

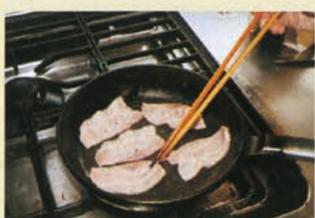
今回、料理を作ってくれたのは、米國出身の県国際交流員のリンジー・マリー・ネルソンさん。
アメリカで最もポピュラーで誰でも簡単に作れるBLTサンドを紹介してくれます。



▲アメリカンサンドイッチ「BLTサンド」



- ①レタスは一枚一枚、パンのサイズに広げ、トマトは1cmほど厚みで輪切りにしておく。



- ②ベーコンをカリカリになるまで、フライパンなどで焼き、焼きあがったらキッチンペーパー等で油を取る。



- ③食パンをキツネ色になるまで焼く、焼きたてのトーストにマヨネーズをバター等を塗る要領で広げながら塗っていく。



- ④パン→レタス→トマト→ベーコン→レタス→パンの順番にサンドしていく。食べやすいように半分に切って完成。

とちぎインターナショナル フェスティバル2009

今年も「とちぎインターナショナルフェスティバル2009」がわくわくグランディ科学ランドで10月3日（土）に盛大に開催されました。今年は前日に大雨に見舞われ、当日も秋晴れとは言えませんでしたが、今回で第20回という歴史あるフェスティバルとなりました。ステージショーも今まで最高の数となり、毎年恒例のステージから今年初という演目まで多種多様なショータイムとなりました。また今年は20回の節目ということでメッセージコーナーも設けました。たくさんの人達からいろいろなメッセージをいただきました。どうもありがとうございました。各団体の試食コーナー、民族物産販売コーナーなど盛り沢山の内容で、会場には、約5,000人の来場者があり、多くの外国の方も来場されました。ご協力いただいた国際交流・国際協力団体の皆さん、本当に疲れ様でした。



華やかなフラメンコショー



栃木市から駆けつけたよさこいグループ「蔵っこ」の皆さん



毎年恒例となった「ベリーダンス」



タイのロックバンド「OMPA」



今年はメッセージコーナーも設置されました。

今回のフェスティバルの様子は
とちぎテレビで放送されます。



毎年栃木フィリピン人協会の歌と踊りは大いに盛り上がります。



ジェンベアンサンブル「ナンカマ」の演奏とダンス。



インドネシア舞踊は今年は男性ダンサー



台湾の少数民族の踊りと衣装に注目



室内ではお茶会も…



ちょっと変わったヨーヨーも



屋台にもぎやか~



毎年かわいいバイオリストの演奏会



みなさまのご来場、ありがとうございました。



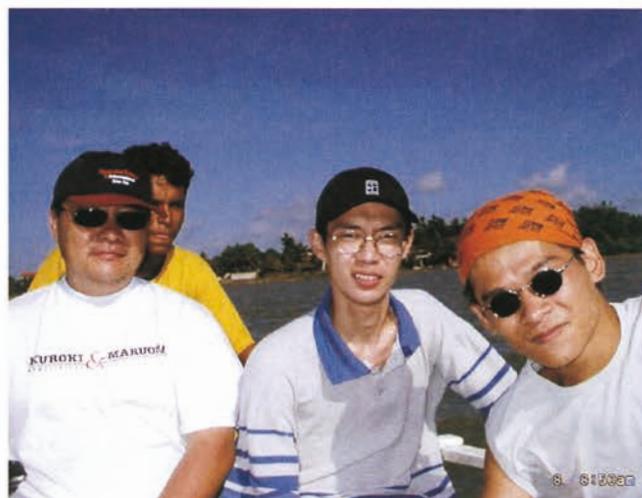
▲ブラジル出身の石本さん

写真を提供してくれたのは、現在、TIAの外国人地域支援室に勤務するブラジル・パラーノ州出身の石本秀雄さん。今回、ブラジルの故郷アマゾンの美しい自然と雄大さを思い出の写真で当時を振り返りながら紹介していただきます。



「スルビウ」という川魚

写真の男性は佐藤たかおアントニオ氏（妻の父）で、手にしているのはアマゾン流域に生息する5kgの重さのある「スルビウ」という魚。この場所は、パラーノ州のタイランジヤという町から車で1時間ぐらいの所にあるファゼンダ。広さは直線距離で歩いても1日かかる広さだという。この地域では、1年中、この「スルビウ」が捕れる。味が淡白なため、この魚は、日本の調理法と同じように焼いてレモン汁をかけて食べるそうだ。



「アルゴドアウ」という島へ

写真は2001年に友人のナルオカトシヤさん、クロキノルマンさんと共にアマゾンの最大の都市「ペレン」から163kmの所にある「マルダ」より船で40分かけて「アルゴドアウ」と呼ばれる島へ向かうところを撮影したもの。「アルゴドアウ」の由来は、ポルトガル語の「アルゴダン」（絹の意）の群生地から来ている。島には「コーラ色」の湖「プリンセス」があり、この島はアメリカの雑誌「TIME」でも紹介され、ブラジルで最も美しい場所トップ10としてランキングされている。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。
詳しくは、協会までお問い合わせください。（☎028-621-0777）

トピックス

Topics

外国人無料法律相談会

県弁護士会との共催で、外国語通訳がつく無料法律相談会を開催した。今年も11月17日（火）～21日（土）までの5日間とちぎ国際交流センターで実施。

TIAでは、毎年この時期に県内各地に居住する外国人を対象に、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、タイ語の6ヶ国語で行っている。在県外国人の増加と定住化に伴い、外国人が抱える問題も、在留資格、労働問題、契約をめぐるトラブル、損害賠償、結婚・離婚、家庭問題など多岐にわたっており、複雑化するこうした問題を解決したい多くの外国人が相談に訪れた。定例の法律相談は毎月第1火曜日実施（詳細はP8 TIA インフォメーションコーナー参照）

在県外国人のための「親子日本文化体験ひろば」開催

4～6歳の未就学児を持つ外国人の親子を対象に、日本語や日本の生活・文化及び学校生活等にふれる機会を提供する「親子日本文化体験ひろば」を、平成21年8月8日から11月21日まで、宇都宮市清原地区市民センターと宇都宮市立清原東小学校で計9回実施した。内容は、日本語学習を中心に浴衣の着付け、書道、生け花、カルタ、折り紙、日本の昔の遊び、親子レクリエーション、交通安全教室、清原東小学校のオープンスクール見学、日本人親子との日本料理教室と盛り沢山。参加者は、様々な日本文化を体験し、学ぶことができた。



栃木県・インディアナ州姉妹提携 10周年記念訪問団来県

9月12日に栃木県と姉妹提携先であるアメリカ・インディアナ州からミッチ・ダニエル州知事を始めとする訪問団が来県し、10周年記念事業に出席した。州知事はインディアナ州の州木であるユリノキを県の中央公園に植樹し、毎年インディアナ州で行われる「ステートフェア」に県の特産物を出展する要請をするなど意欲的な交流が行われた。

米国インディアナ州と トライン大学副学長来県

栃木県と友好姉妹関係にあるインディアナ州からマイク・ポック副学長がTIAを訪れ、9月19日に今年から本県出身の留学生に年間1万ドルの奨学金を支給する制度の説明会を行った。学校関係者や留学を希望する高校生らが参加。大学側の詳しい説明に耳を傾けていた。

「市町国際交流協会連絡会議」開催

9月17日に県内市町国際交流協会との情報交換を行い、連携の強化を図ることを目的とした「市町国際交流協会連絡会議」をとちぎ国際交流センターで開催した。

今回の会議では、各協会の事業内容、直面している課題や、日本語教室の運営や資金にともなう問題などを話し合い、活発な意見交換があった。

TIAは、今後の各市町の連携の方法として、協会間のメーリングリストで、いろいろな問題を解決していくというアイデアを提案した。



▲県内市町国際交流協会からの出席者たち



▲アレクサンドル・ドュマ高校で体験通学

フランス・ヴォークリューズ県で高校生が研修

栃木県日仏青少年短期研修事業の一環で、県内の高校生5名が11月4日~17日の2週間フランスを訪問し、栃木県の友好交流県であるヴォークリューズ県で、体験通学やホームステイを行った。

体験通学はカヴァイヨン市のアレクサンドル・ドュマ高校。フランスと日本の学校生活の違いを見たり、ホームステイではホストファミリーとの友情を育んだ。また、県内各地を見学し歴史と自然の素晴らしさを堪能した。

から高校生を対象に文化活動（読書・日本文化紹介）、教育活動（英語・工作・スポーツなど）、環境教育（エコクラブなど）を中心に活動したいと思っております。

<シニア海外ボランティア>

●出町秀也さん（インドネシア／木工）真岡市出身

インドネシアの東側スラウェシ島のマカッサル市というところで現地の木工品製造会社の協同組合に製造技術の指導をする予定です。現在、63歳です。人生の新たな出発に向けて、ギヤチエンジ、国際交流のために頑張ってきます。そして自分自身の人生も大いに楽しみたいと思っています。

※ TIAホームページには、栃木県出身のJICAボランティアから届いた現地&活動情報をアップしています。外国について興味のある方途上国の諸問題を知りたい方ボランティア活動を知りたい方、ぜひ覗いてみてくださいね！



▲地図で各国の位置を確認

TIA内JICA栃木デスク
知久志穂子

国際協力への扉/道のり

「ベトナム、ブルキナファソ、インドネシアで 国際協力してきます！」

9月15日（火）にJICAボランティア21年度2次隊の3名の方が、TIAへ表敬訪問を行いました。ブルキナファソというあまり耳に馴染みのない国に赴任するボランティアもあり、国の位置を確認したり、活動内容や各国の生活・文化について質問が交わされました。ボランティアのみなさんの表情やお話から、これから活動を楽しみにしている様子が伝わってきました。

頂いたたくさんの激励の言葉を胸に、9月下旬にそれぞれの派遣国へと出発しました。

以下、出発されたみなさんの抱負です。

<青年海外協力隊>

●吉田聰子さん（ベトナム／理学療法士）小山市出身

ベトナムのハノイから北へ150キロメートル離れたトゥインクワン省にある総合病院に理学療法士として派遣されます。病院の同僚と一緒にリハビリを提供するとともに、リハビリの質の向上に向けてお手伝いができるたらと思っております。

●高木詩紀さん（ブルキナファソ／青少年活動）矢板市出身

西アフリカのブルキナファソのボロモ市というところで小学生

JBLリンク栃木ブレックス中継



とちぎテレビでは下記試合を中継予定。
躍動感溢れるブレックスの活躍をお届けします。

試合放送日程

12/19 土	18:00 ~	LIVE	ブレックス × アイシン
1/17 日	21:00 ~	録画	ブレックス × レラカムイ北海道
1/23 土	18:00 ~	LIVE	ブレックス × バナソニック
2/20 土	18:00 ~	LIVE	ブレックス × 東芝
2/28 日	21:00 ~	録画	ブレックス × アイシン
3/27 土	18:00 ~	LIVE	ブレックス × 日立

*放送時間が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

第88回定期演奏会

栃木県交響楽団

2010年2月14日(日)午後2時開演(1時30分開場)宇都宮市文化会館大ホール



〈指揮〉
井崎 正浩

〈演奏曲目〉

- R・コルサコフ 「皇帝の花嫁」序曲
- プロコフィエフ ヴァイオリン協奏曲第1番
- チャイコフスキイ 交響曲第4番



〈ヴァイオリン独奏〉
鷲見 恵理子

全自由席 ¥1,500円(前売1,200円) 電子チケットぴあ
お問い合わせ 栃木事務局 ☎ 028-643-5288

TIA Information Corner

「TIA携帯情報サービス」 メール会員募集中！！

TIAでは、携帯電話による多言語情報提供「TIA携帯情報サービス」を行っています。メール会員にご登録されると、様々な生活情報やイベント情報、また防災に関する情報をメールでお届けします。メール会員へ登録ご希望の方は、下記アドレスへ空メールを送信し、登録してください。登録完了通知メールが来れば、会員登録完了です。会員登録は無料です。日本人、外国人問わず誰でも会員になれます。皆様のご登録をお待ちしております。

tia21.jpn.in@tia21.or.jp (日)
tia21.eng.in@tia21.or.jp (英)
tia21.esp.in@tia21.or.jp (ス)
tia21.por.in@tia21.or.jp (ポ)
tia21.chn.in@tia21.or.jp (中)

賛助会員募集!!

TIAでは、賛助会員を募集しています。皆さまからの賛助会費は、TIAの様々な事業に使わせていただき、地域の国際化に役立っています。

会員の特典：

- TIA主催のイベントやセミナー等の情報提供
- TIA主催のイベントやセミナー等の参加費の割引（個人会員）
- TIAニュース「やあ！」を年4回送付
- 会員証の提示により指定店の旅行企画商品および海外旅行用品の割引
- ビデオ録画方式変換（海外↔日本）の無料サービス
- とちぎ国際交流センター施設利用の場合、予約は2か月前（通常は1か月前）から先行受付（団体・法人会員）

年会費：個人 3,000円
団体 10,000円
法人 30,000円

外国人のための専門相談のご案内

TIAでは、総合相談のほかに栃木県精神保健福祉センター、栃木県弁護士会、栃木県行政書士会の協力を得て、下記の専門相談を行っています。相談では医師、弁護士、行政書士の専門家が対応します。

外国人の方や外国人とのかかわりでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。相談は無料ですが、予約が必要です。

●精神保健相談

毎月第1・3火曜日 15:00~16:00

●法律相談

毎月第1火曜日 10:00~12:00

(祝日の場合は第3火曜日)

●入国・在留・国籍手続き相談

毎月第2水曜日 10:00~12:00

(祝日の場合は第4水曜日)

※場所：とちぎ国際交流センター（精神保健相談は栃木県精神保健福祉センター）

※言語：日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語（ほかの言語による相談も可）

お問合せ（相談専用電話）

028-627-3399

(火曜日～土曜日9:00～16:00)

総合相談：火曜日～土曜日 9:00～16:00

※TIA相談員が対応します。（予約不要）

栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室は
どなたでも気軽にご利用できます～

■相談事業

在県外国人また県民の皆さまの国際交流・国際協力に関する相談に、専門の相談員が対応

■機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ！」の発行やインターネット、携帯電話による多言語情報の提供
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■TIA協力者バンク

ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーターバンクの運営
＊この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。
＊会議室等の施設利用についてはご相談ください。

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄付金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

とちぎインターナショナル フェスティバル2009 テレビ放映

平成21年10月3日(土)に開催した「とちぎインターナショナルフェスティバル2009」の模様を紹介するテレビ番組を「とちぎテレビ」で下記の日程で放映します。
番組のDVDを販売しますので、興味のある方はTIAにお申し出ください。

放送日

平成21年12月 6日(日) 18:45~18:55
平成21年12月12日(土) 10:50~11:00(再放送)

